

CPD 行事受講証作成ルールについて

2011. 7. 15 北海道本部事務局制定
2017. 11. 29 北海道本部事務局変更
2019. 8. 8 北海道本部事務局変更
2024. 6. 24 北海道本部事務局変更

日本技術士会の「本会における CPD 参加に関わる CPD 行事受講証について（2023 年 5 月 10 日）」に基づき、北海道本部では「CPD 行事受講証」に関して一定のルール化を設定しております。

下記の留意事項に従ってご協力をお願いします。

1. 北海道本部の各委員会、各研究委員会、各地方技術士委員会等が CPD 行事を開催する場合、事前に幹事メーリングリストにてイベント情報開催日時のお知らせを行い、極力日時の重複は避けてください。
2. 「CPD 行事受講証」を発行するイベントを案内する場合、案内文書には CPD 行事である旨を掲載してください。

(記載例)

- ・ヘッダーに記載 継続研鑽(CPD)プログラム
- ・文中に記載

CPD・・・本研修会参加者には CPD 行事受講証を発行いたします。

3. 「CPD 行事受講証」に付ける番号は、下記のルールに従って、各委員会、各研究委員会、各地方技術士委員会等の事務局で連番を振って管理します。
 - 3-1. 「CPD 行事受講証」の連番は、「〇〇-R06-〇〇」というように、2桁、ハイフン、3桁、ハイフン、2桁の合計7桁の番号とします（全角文字、半角文字は問いません）。
 - 3-2. 最初の2桁は、各委員会、各研究委員会、各地方技術士委員会等に割り当てられた固有番号とし、以下の通り設定します。

組織名	組織番号	組織名	組織番号
本部事務局	A1	北方海域技術研究委員会	E2
技術士試験委員会	B1	リージョナルステート研究委員会	E3
総務委員会	C1	北海道スタンダード研究委員会	E6
事業委員会	C2	エンジョイ・サイエンス研究委員会	E9
広報委員会	C3	技術者のミライ研究委員会	E10
社会活動委員会	C4	北海道インフラ技術政策研究委員会	E11
防災委員会	D1	道央技術士委員会	F1
青年技術士交流委員会	D2	道南技術士委員会	F2
倫理委員会	D3	道東技術士委員会	F3
-	-	道北技術士委員会	F4
-	-	オホーツク技術士委員会	F5

3-3. 真ん中の3桁は、年度とし、令和6年度は「R06」と言うように振ります。

3-4. 最後の2桁は、各委員会、各研究委員会、各地方技術士委員会等が主催するセミナー等のその年度の連番を付けて下さい。

例えば、令和5年11月22日(水)に開催される社会活動委員会主催の『令和5年社会交流セミナー』は、社会活動委員会の令和5年度最初のCPD行事であることから、CPD行事受講証 No. C4-R05-01 (または半角英数C4-R01-01) となります。

4. イベント開催時には会場にて上記ルールに従った番号を付した「CPD行事受講証」を用意してください。

受講証の書類様式(Word版)は日本技術士会統括本部(東京)のHPにも掲載されておりますが、用意にあたっては、北海道本部HP(セミナー/イベント情報のページ)に掲載のものを使用して下さい。

5. 「CPD行事受講証」の用意は、あくまでも北海道本部の各委員会、各研究委員会、各地方技術士委員会等が主催するセミナーや見学会等のイベントに限定します。

他の団体が主催するイベントに協賛、後援で参加する場合は、「CPD行事受講証」を用意しないで下さい。

なお、共催(=共同主催)の場合の受講証発行には、個別のケースにより可否の条件が異なりますので、必ず事前に事務局までお問い合わせください。

- ・日本技術士会 HP → 技術士 CPD → 関係学協会との連携など → 本会における CPD 参加に関わる CPD 受講証について
- ・北海道本部 HP → <https://www.ipej-hokkaido.jp/event/eventm.htm>

以上